## 2014年度

## 線型代数学演習A

## No. 10 例題

2014年6月30日実施

|1| 以下の複素行列について, (有限回の)行基本変形 のみを施すことにより, 簡約行列, 即 ち, 階段行列であって, その階数をrとし, 第j行 ( $1 \le j \le r$ ) の0 でない成分のうち 最も左にある成分を  $a_{jk_j}$  とするとき,  $a_{jk_j}=1$  であり, かつ  $\frac{\hat{\mathbf{x}} k_j}{\mathbf{y}}$  列の他の成分は  $\frac{\mathbf{0}}{\mathbf{0}}$  で ある行列に変形せよ

$$\begin{pmatrix}
1 & -1 & -1 & 2 \\
-2 & 1 & 0 & -1 \\
-1 & 2 & 3 & -2
\end{pmatrix}.$$

$$\begin{pmatrix}
-1 & 1 & 1 & -1 & 2 \\
1 & -1 & -2 & 0 & 2 \\
2 & -2 & -1 & 3 & -1
\end{pmatrix}.$$

(略解) 行基本変形の具体的な操作はまとめて書くことにする.

$$\begin{pmatrix}
1 & -1 & -1 & 2 \\
-2 & 1 & 0 & -1 \\
-1 & 2 & 3 & -2
\end{pmatrix}
\xrightarrow{(i)}
\begin{pmatrix}
1 & -1 & -1 & 2 \\
0 & -1 & -2 & 3 \\
0 & 1 & 2 & 0
\end{pmatrix}
\xrightarrow{(iii)}
\begin{pmatrix}
1 & 0 & 1 & -1 \\
0 & -1 & -2 & 3 \\
0 & 0 & 0 & 3
\end{pmatrix}$$

$$\xrightarrow{(iiii)}
\begin{pmatrix}
1 & 0 & 1 & 0 \\
0 & -1 & -2 & 0 \\
0 & 0 & 0 & 3
\end{pmatrix}
\xrightarrow{(iv)}
\begin{pmatrix}
1 & 0 & 1 & 0 \\
0 & 1 & 2 & 0 \\
0 & 0 & 0 & 1
\end{pmatrix}.$$

各行基本変形の具体的な操作は以下の通りである.

- (i) 第2,3行にそれぞれ第1行の2倍,1倍を加える.
- (ii) 第1,3行にそれぞれ第2行の-1倍,1倍を加える.
- (iii) 第 1, 2 行にそれぞれ第 3 行の  $\frac{1}{3}$  倍, -1 倍を加える.
- (iv) 第 2, 3 行をそれぞれ -1 倍,  $\frac{1}{3}$  倍する

1

各行基本変形の具体的な操作は以下の通りである

- (i) 第2.3行にそれぞれ第1行の1倍.2倍を加える.
- (ii) 第1,3行にいずれも第2行を加える.
- (iii) 第 1, 2 行にそれぞれ第 3 行の  $-\frac{6}{7}$  倍,  $-\frac{4}{7}$  倍を加える.
- (iv) 第 1, 2, 3 行をそれぞれ -1 倍, -1 倍,  $\frac{1}{7}$  倍する.

n を正整数とし、n 次複素正則行列 A について、A と n 次単位行列  $E_n$  を並べて得られる (n,2n) 複素行列を  $\widetilde{A}=(A\ E_n)$  とおく.このとき、 $\widetilde{A}$  に <u>行基本変形</u> のみを施して、 $\widetilde{B}=(E_n\ B)$  と変形することにより、A の逆行列  $A^{-1}$  を求めることができる.この方法を用いて、以下の A について、逆行列  $A^{-1}$  を求めよ.

$$(1) A = \begin{pmatrix} 1 & -1 & 1 \\ 1 & 1 & 2 \\ 0 & 1 & 1 \end{pmatrix}.$$
 
$$(2) A = \begin{pmatrix} 2 & -1 & 0 \\ -1 & 2 & -2 \\ 0 & -1 & 2 \end{pmatrix}.$$

(略解) 行列 X,Y について,  $X \to Y$  で X に <u>行基本変形</u> を施すことにより, Y に変形 されることを表すとする.  $\widetilde{A} = (A \ E_n) \to (\overline{E_n} \ B) = \widetilde{B}$  であるとすると, n 次複素正則行列 P が存在して,  $\widetilde{B} = P\widetilde{A}$  となる. このとき,  $(E_n \ B) = P(A \ E_n) = (PA \ P)$  であるから,  $PA = E_n$ , かつ P = B が成り立つ. よって, B = P は A の逆行列である.

$$\widetilde{A} = \begin{pmatrix}
1 & -1 & 1 & 1 & 0 & 0 \\
1 & 1 & 2 & 0 & 1 & 0 \\
0 & 1 & 1 & 0 & 0 & 1
\end{pmatrix}
\rightarrow \begin{pmatrix}
1 & -1 & 1 & 1 & 0 & 0 \\
0 & 2 & 1 & -1 & 1 & 0 \\
0 & 1 & 1 & 0 & 0 & 1
\end{pmatrix}$$

$$\rightarrow \begin{pmatrix}
1 & 0 & 2 & 1 & 0 & 1 \\
0 & 0 & -1 & -1 & 1 & -2 \\
0 & 1 & 1 & 0 & 0 & 1
\end{pmatrix}
\rightarrow \begin{pmatrix}
1 & 0 & 0 & -1 & 2 & -3 \\
0 & 1 & 0 & -1 & 1 & -1 \\
0 & 0 & -1 & 1 & -1 & 1
\end{pmatrix}
\rightarrow \begin{pmatrix}
1 & 0 & 0 & -1 & 2 & -3 \\
0 & 1 & 0 & -1 & 1 & -1 \\
0 & 0 & -1 & 1 & -1 & 2
\end{pmatrix}.$$

従って、
$$A^{-1} = \begin{pmatrix} 1 & 1 & 1 \\ 1 & 2 & 2 \\ \frac{1}{2} & 1 & \frac{3}{2} \end{pmatrix}$$
.